

日本教育法学会主催・明治大学比較法研究所後援

コロンビア大学

マイケル・レベル教授 講演会

教育政策における裁判所の役割 —教育の「無償化」政策を考える—

日時

2018年6月5日(火) 18:30～21:15

会場

明治大学 リバティタワー 12階 1126 教室

御茶ノ水駅より徒歩5分 (JR中央線・総武線、地下鉄丸ノ内線)

※アクセス詳細については大学HPをご参照ください

※事前予約不要、日本語補助あり

日本の現状報告：成嶋隆 (獨協大学・日本教育法学会会長)
高橋哲 (埼玉大学)

コーディネーター：世取山洋介 (新潟大学)
鈴木大裕 (NPO法人SOMA副代表)



マイケル・レベル (Michael A. Rebell)

ハーバード大学、イェール大学ロースクールを卒業後、弁護士として教育裁判に携わる。その後、コロンビア大学の教育法学担当教授として着任、弁護士としても、NY市内の障がいのある子どもの教育保障を求める裁判、ならびに、貧困学区の教育財政問題を是正する裁判を担当する。これらの訴訟活動の経験を通じて、教育政策形成における裁判所の役割、「教育をうける権利」を保障する「適正な教育」の在り方について追究している。

講演会では、日本において「教育の無償性」を実現する方途、あるいは、訴訟を通じた教育政策の形成、是正の可能性について検討する。

お問い合わせ：

日本教育法学会事務局
education_law_k@yahoo.co.jp
HP: <http://jela1970.jp/>